

LIXIL ソルディーポート 異形対応 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>



注意

- 部材の固定
 - ・タッピンネジの下穴には指定より太いボルトを使用しないでください。
 - ・必ず指定の組立ネジ・ボルトを使用してください。また施工後、ネジ・ボルトにゆるみがないか点検してください。
- ※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- シーリングについて
 - ・指定の箇所に必ずシーリングをしてください。

<施工上のご注意>



ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行ってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 本製品施工の際は「ソルディーポート 取付説明書〈D570〉」を併せてご使用ください。
- 取付けは専門業者が行なってください。専門知識のない方が取付けされると不具合発生の原因となることがあります。
- 屋根部は必ず梁をまたいでください。

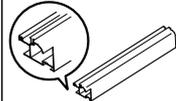
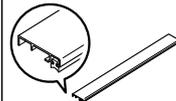
<施工上のご注意 (つづき)>

ポイント

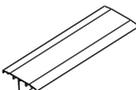
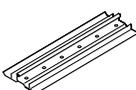
- 出入隅は全タイプで施工可能です。
- 正面台形は1台、2台用まで施工可能です。
- 形材のL寸法が6100mmを超えるものは作成できません。
- 竖樋は必ず指定本数以上取付けてください。

■梱包明細表

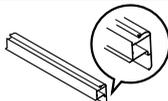
【1】異形対応端部アーチセット

名 称	略 図	員 数
端部アーチ (出入隅用下)		2
端部アーチ (出入隅用上)		2
端部アーチカバー		2
【1-1】φ4×13ナベドリルネジ		37
取付説明書〈D569〉	—	1

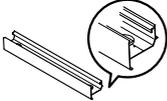
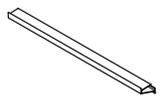
【2】出入隅カバーセット

名 称	略 図	員 数
出入隅カバー上		1
出入隅カバー下		1

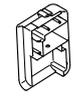
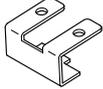
【3】正面台形用後枠セット

名 称	略 図	員 数
後枠 (正面台形用)		1
取付説明書〈D568〉	—	1

【4】正面台形用前枠セット

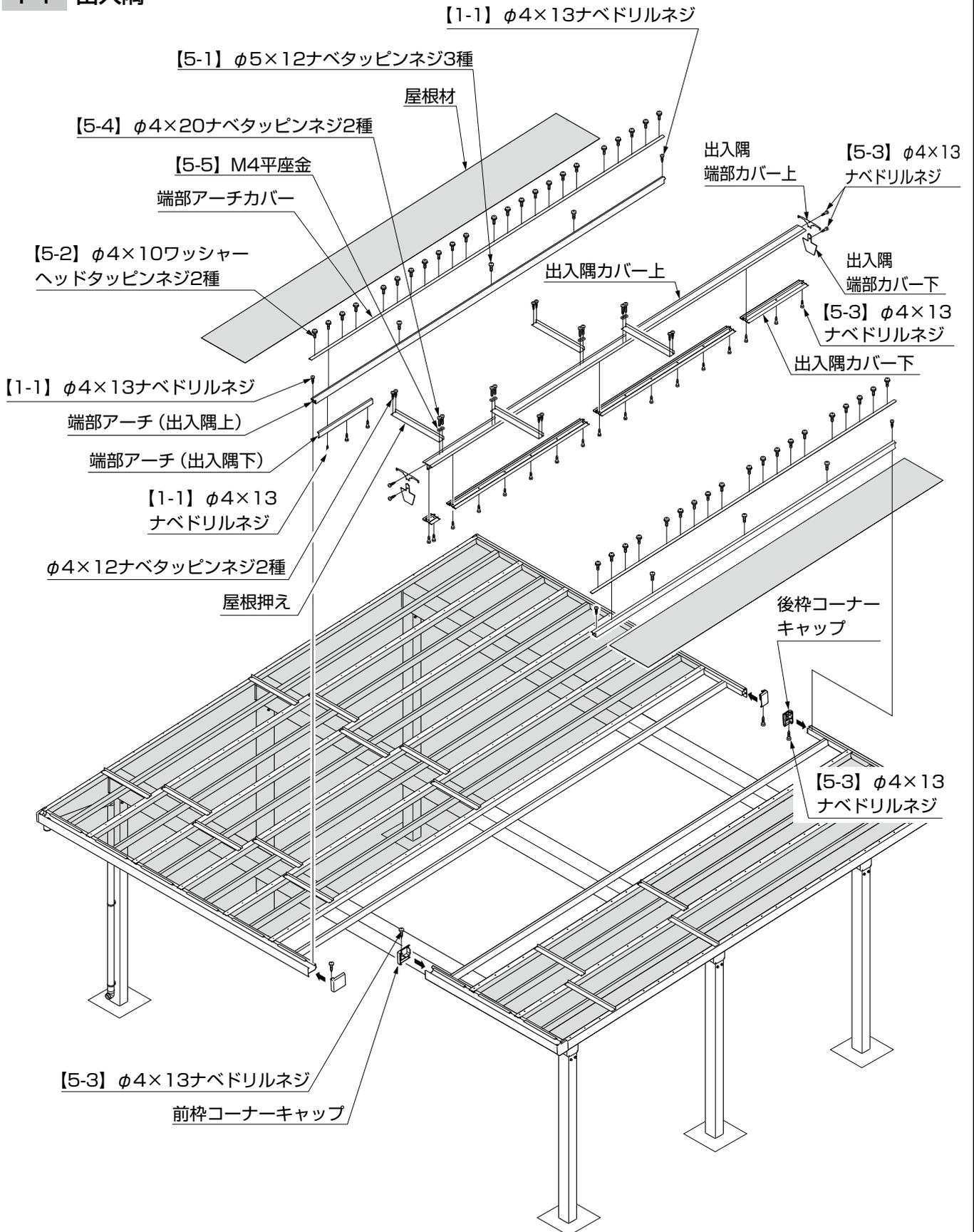
名 称	略 図	員 数
前枠 (正面台形用)		1
パネル受け		10
部品箱 落下防止金具 (正面台形用)		8
取付説明書〈D568〉	—	1

【5】出入隅部品セット

名 称	略 図	員 数
前枠コーナーキャップ		左右各1
後枠コーナーキャップ		左右各1
出入隅端部カバー上		2
出入隅端部カバー下		2
落下防止金具		4
【5-1】φ5×12 ナベタッピンネジ3種		4
【5-2】φ4×10ワッシャーヘッド タッピンネジ2種		30
【5-3】φ4×13ナベドリルネジ		40
【5-4】φ4×20 ナベタッピンネジ2種		8
【5-5】M4平座金		8
取付説明書〈D568〉	—	1

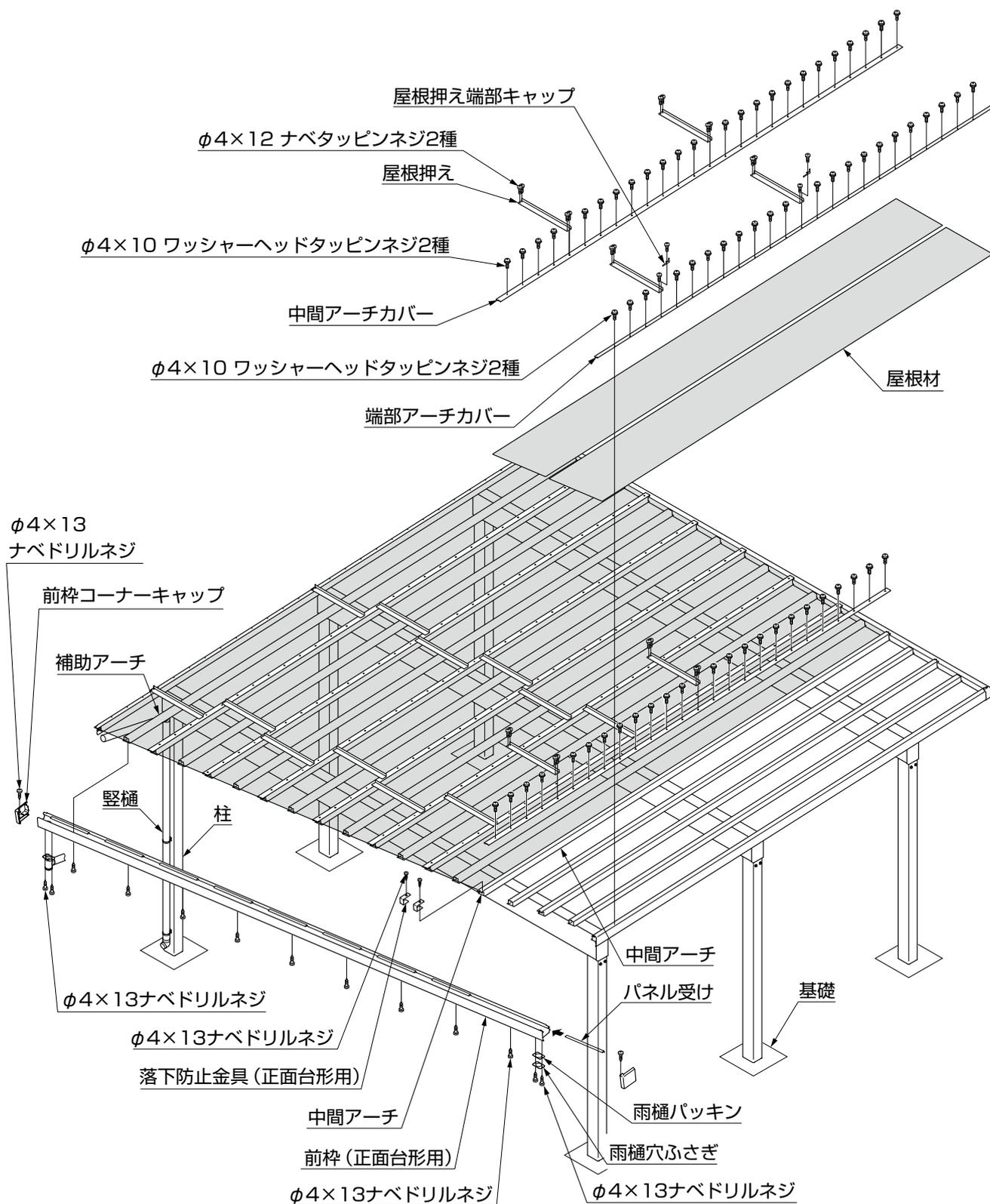
1. 各部の名称

1-1 出入隅



1. (つづき)

1-2 正面台形



2. 出入隅

2-1 施工制限

ポイント

●本書では、下図の出入隅をベースに加工寸法や施工方法を説明しています。下図と左右対称に施工する場合は、加工寸法や施工方法など必要に応じて左右対称に読み替えてください。

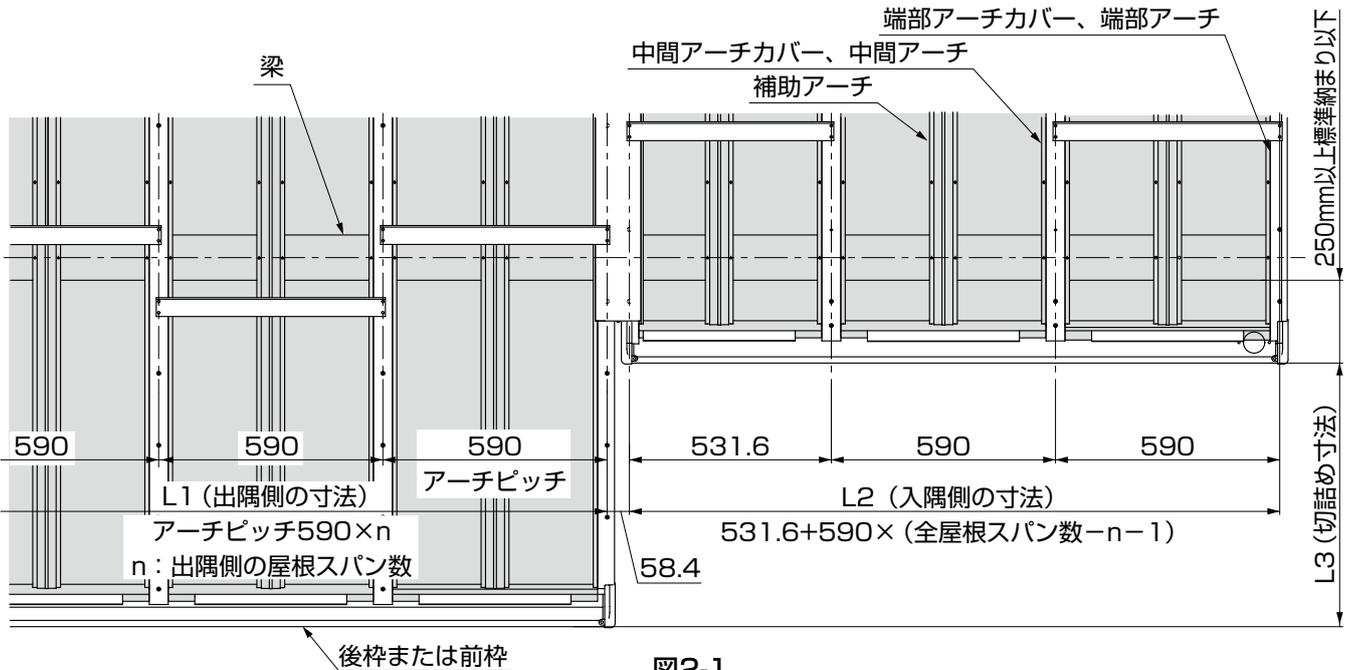


図2-1

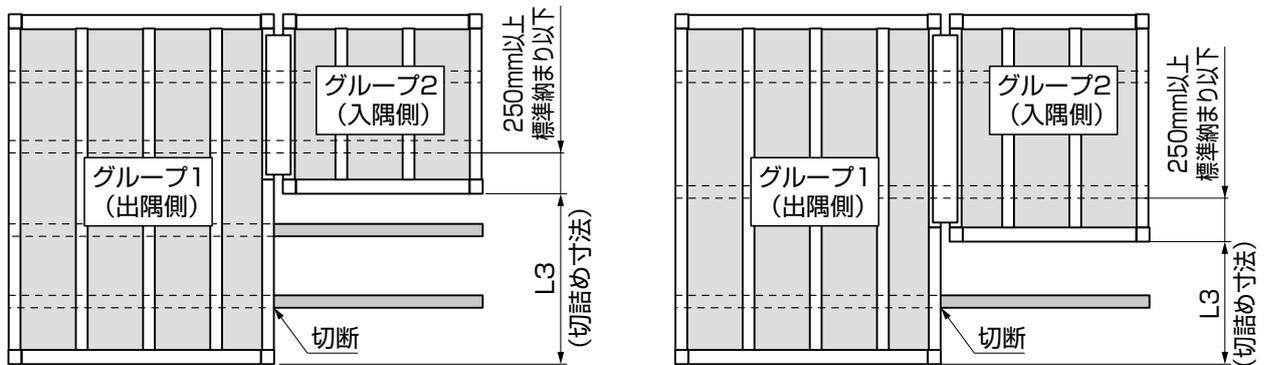


図2-2 梁の切断

注意

●柱移動は当社指定範囲内にしてください。

ポイント

- W18延長側の3スパン目の位置での出入隅施工はできません。
- W78の場合、梁を連結するボルトが干渉してしまうため、間口左側の2スパン目と3スパン目の位置で出入隅施工はできません。
- 屋根部は、必ず最低2本の梁をまたいでください。また、梁からのはね出し寸法は250mm以上標準納まり以下にしてください。
- 屋根部がのらない梁は切断してください。(図2-2参照)
- 梁を切断しない場合は、端部アーチ(出入隅用下)を切断して取付けてください。(ソルディーポート 柱移動 取付説明書〈D569〉「2.間口柱移動(梁はね出し)の場合」参照)
- 施工可能寸法表の寸法範囲内で施工してください。(図2-1、表2-1参照)
- 柱本数は、サイズ、積雪区分に準じてください。(ソルディーポート 取付説明書〈D570〉参照)

表2-1 施工可能寸法表

梁	長さ	L3		はね出し 最小
		最大	最大	
2本	50	750	1050	250
	57	900	1200	
3本	50	2230	825	
	57	2580	925	
4本	50	2850	650	
	57	3300	700	

2. (つづき)

2-2 部材の加工

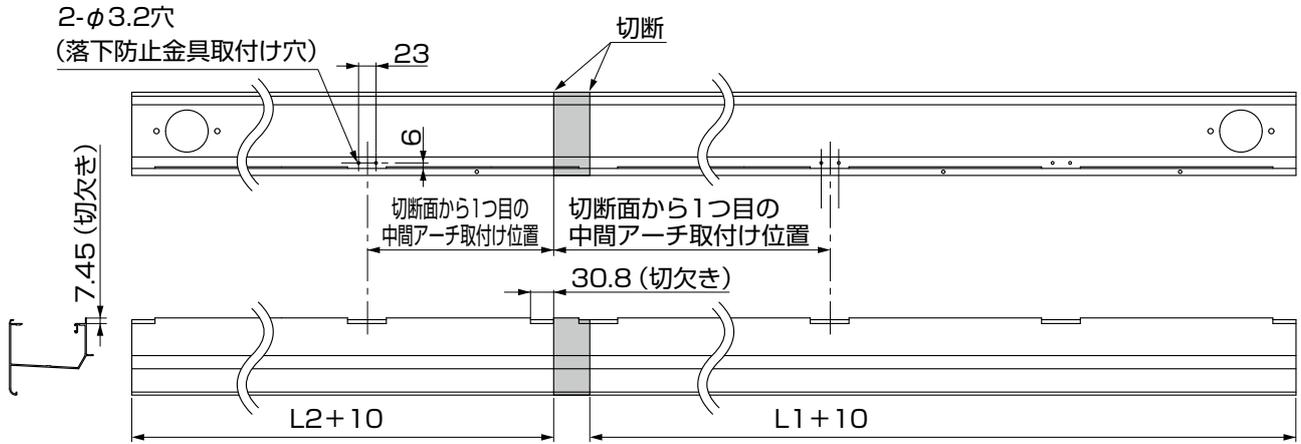


図2-3 前枠 加工本数：1本

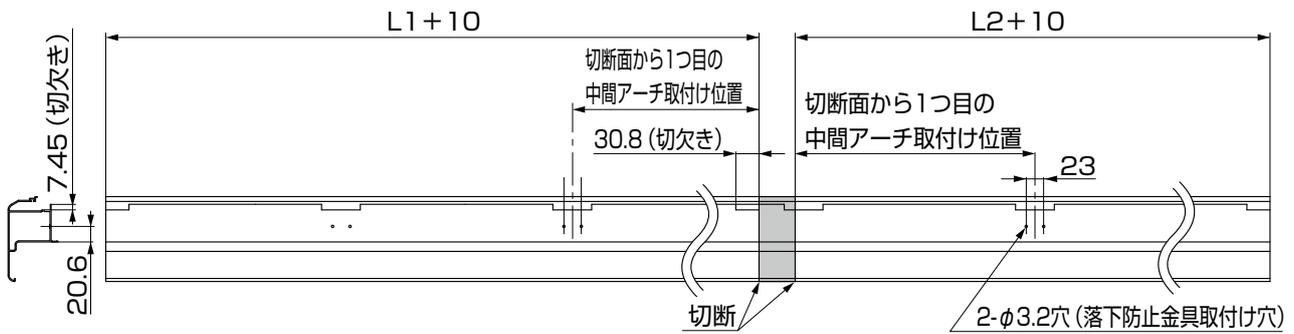


図2-4 後枠 加工本数：1本

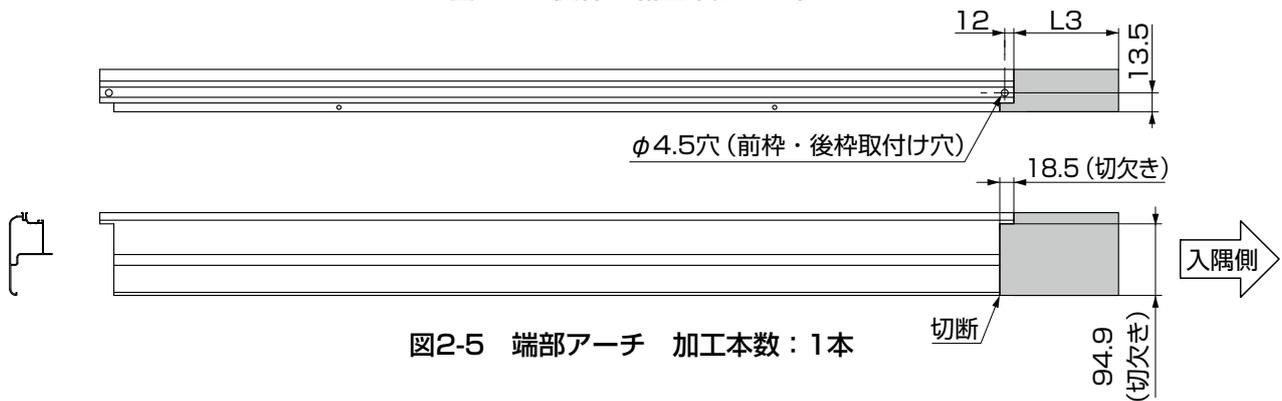


図2-5 端部アーチ 加工本数：1本

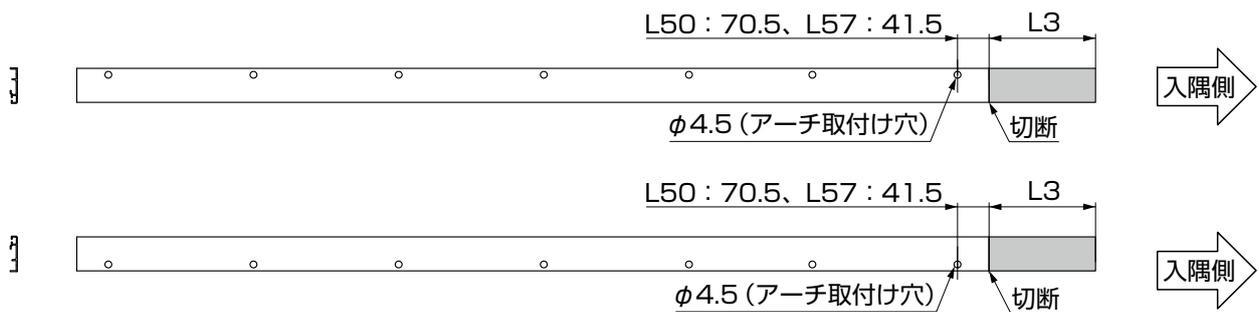


図2-6 端部アーチカバー 加工本数：左右1本

①部材を加工してください。

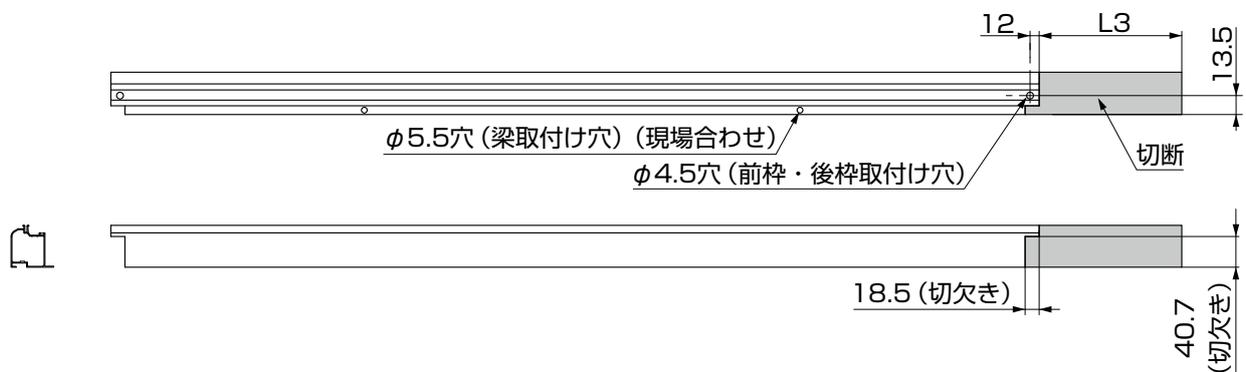
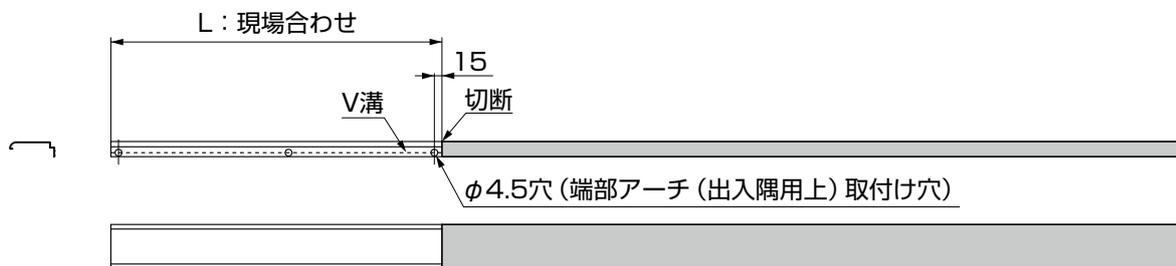


図2-7 端部アーチ (出入隅用上) 加工本数：1本



ポイント

- 出入隅端部カバー下から端部アーチ (出入隅上) の切欠き部までを現場で採寸し、切断加工をしてください。(「2. 出入隅 2-3 施工方法 (7) 端部アーチ (出入隅下) の取付け」参照)

図2-8 端部アーチ (出入隅用下) 加工本数：1本

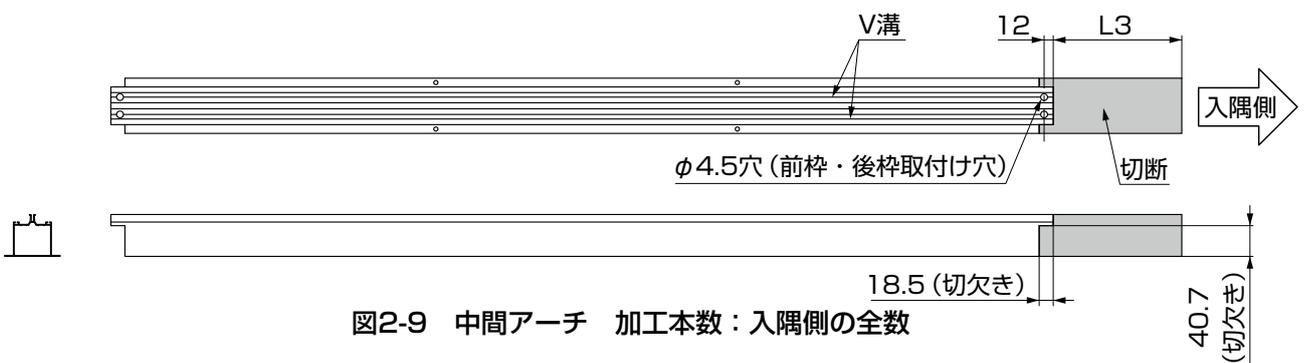


図2-9 中間アーチ 加工本数：入隅側の全数

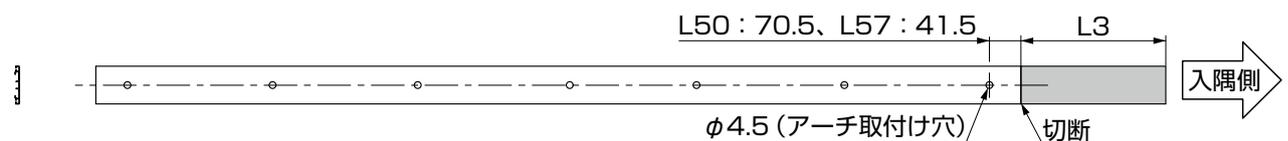


図2-10 中間アーチカバー 加工本数：入隅側の全数

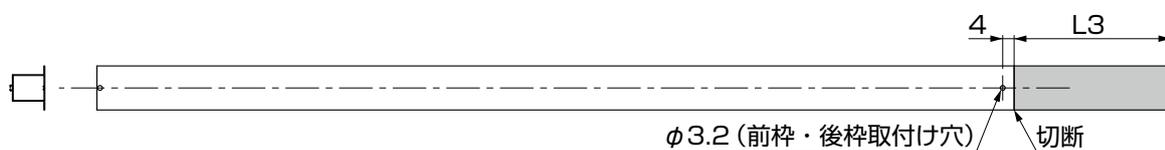


図2-11 補助アーチ 加工本数：入隅側の全数

①部材を加工してください。

2. (つづき)

2-2 つづき

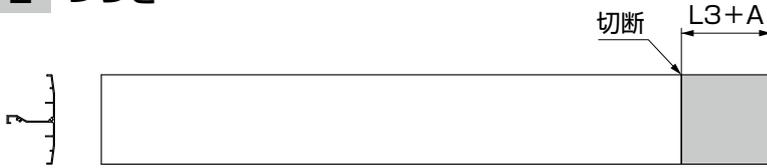


図2-12 出入隅カバー上

表2-2

サイズ	A
L50	752
L57	47

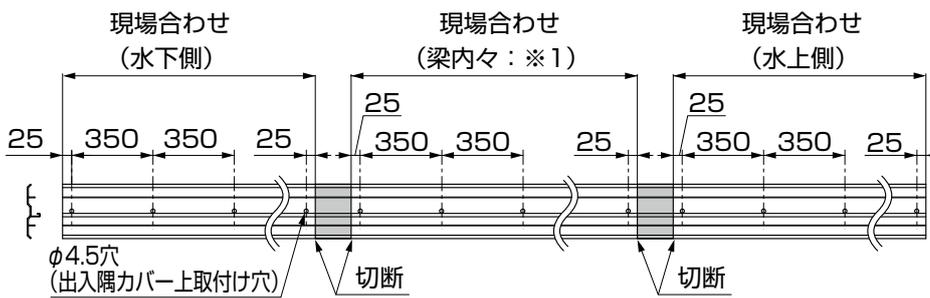


図2-13 出入隅カバー下

ポイント

- 出入隅カバー下を取付ける際に、出入隅カバー上と端部がそろるように切断加工してください。(「2. 出入隅 2-3 施工方法 (4) 出入隅カバーの取付け」参照)
- 左図は梁2本の場合を示します。梁の本数が増える場合、※1の切断個数を増やしてください。

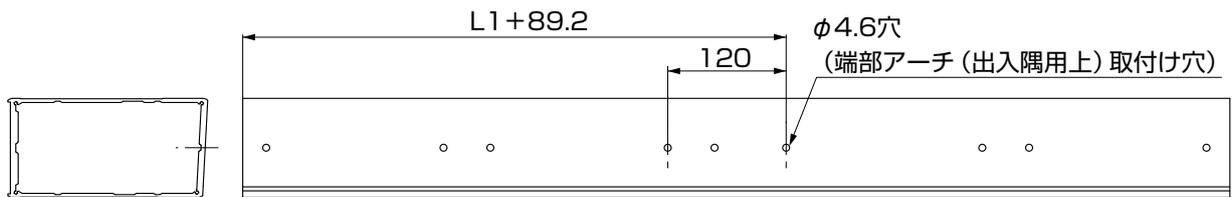


図2-14 梁

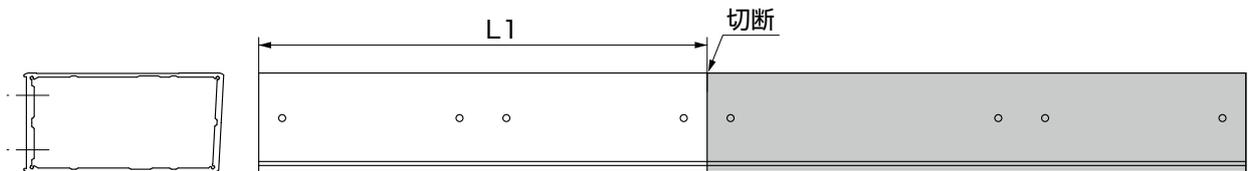


図2-15 梁 (切断する場合)

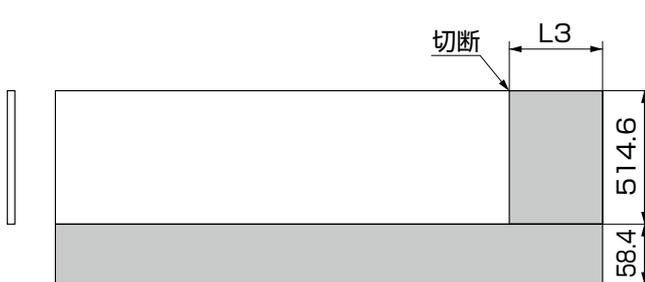


図2-16 屋根材

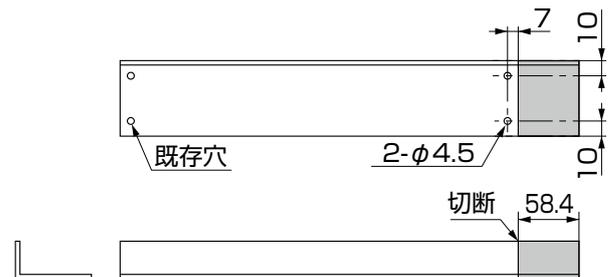


図2-17 屋根押え

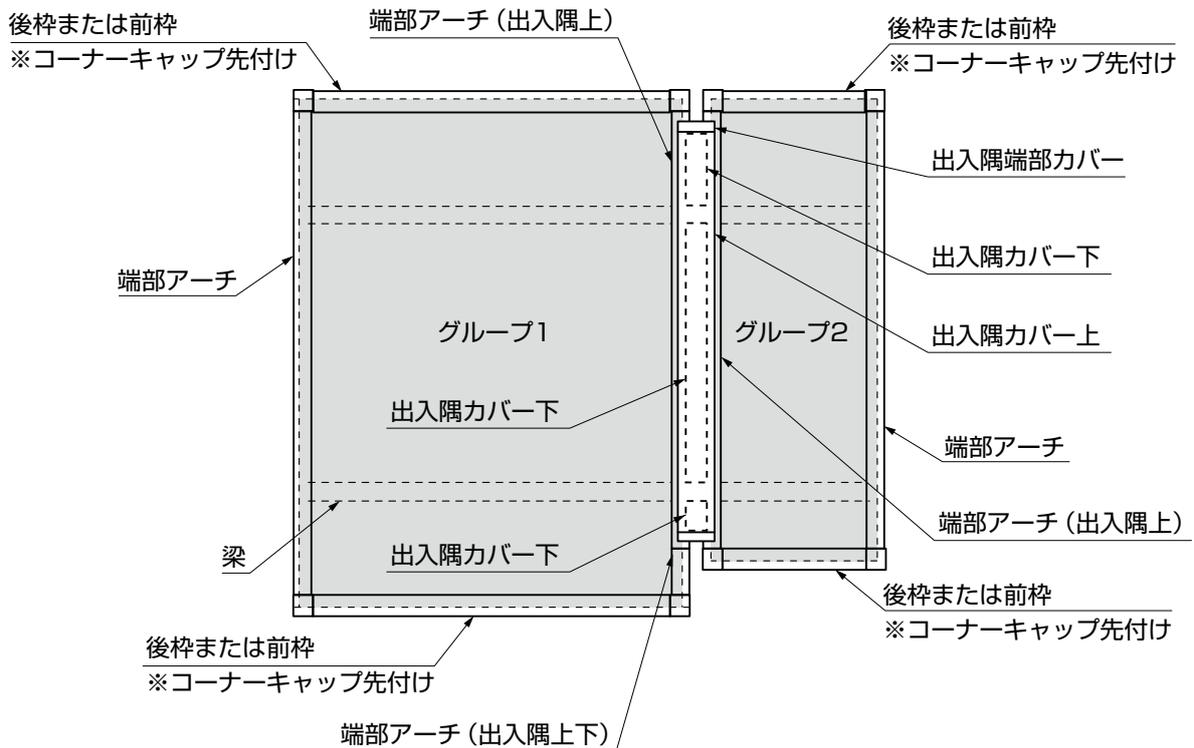
①部材を加工してください。

2-3 施工方法

(1) 施工の前に

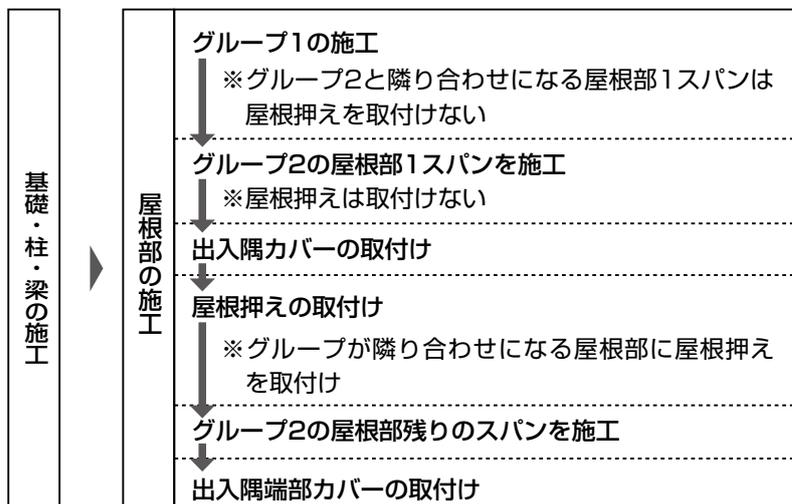
ポイント

- 基本的な屋根施工については、「ソルディーポート 取付説明書〈D570〉」を参照してください。本書では、出入隅に特化した内容のみ記載しています。
- コーナーキャップは前枠、後枠に先付けします。本書「2. 出入隅 2-3 施工方法 (3) コーナーキャップの取付け」を参照してください。



①部材の取付け位置を確認をしてください。

ポイント

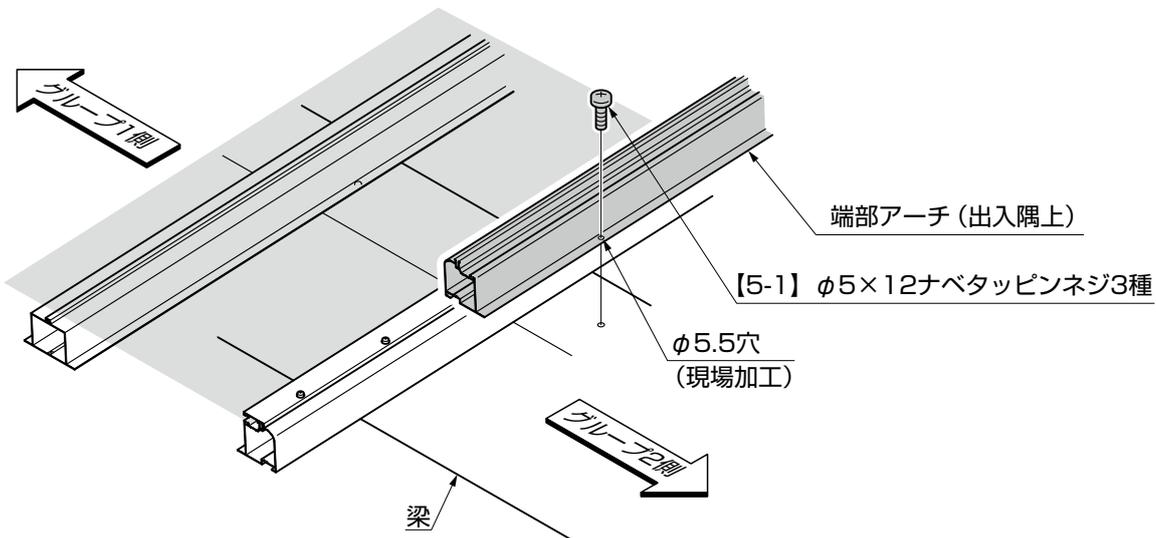


- 出入隅は左記の流れで施工してください。
- 出入隅用部品以外の取付けは「ソルディーポート 取付説明書〈D570〉」を参照してください。

2. (つづき)

2-3 つづき

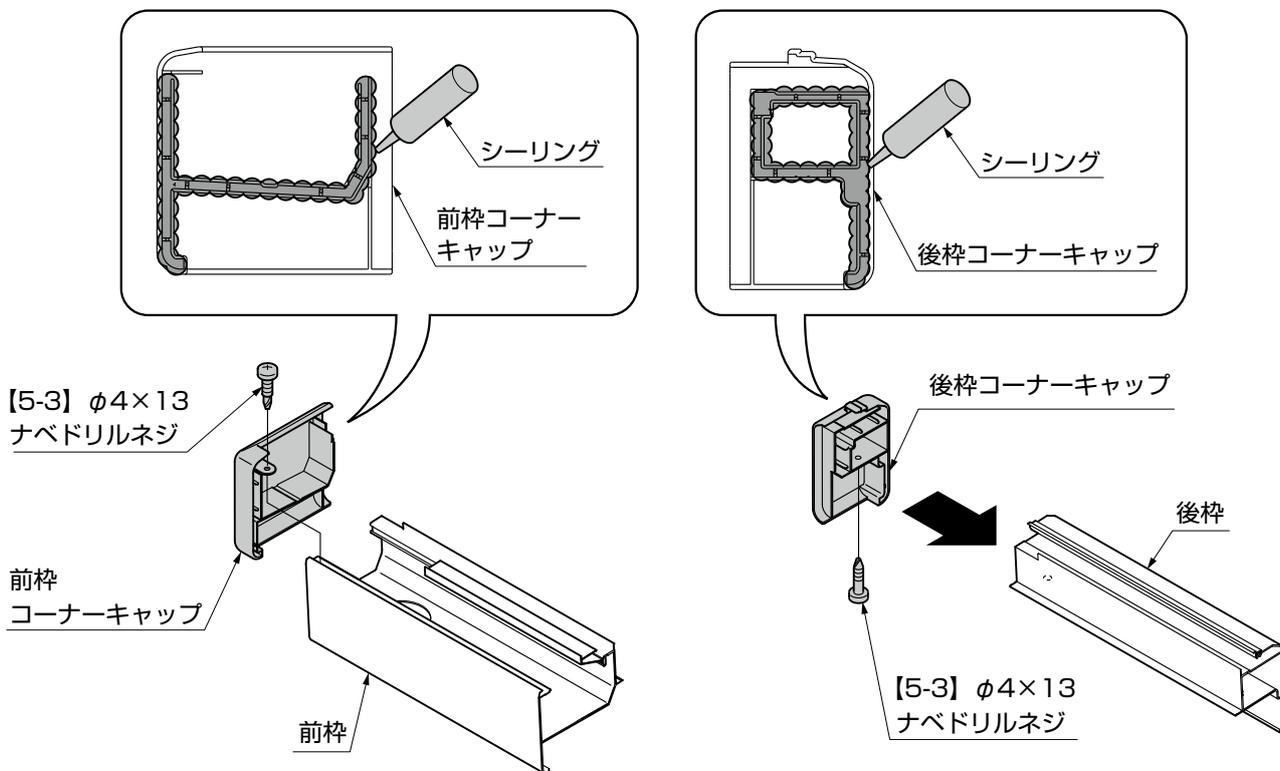
(2) 端部アーチ (出入隅上) の取付け



① 梁の穴位置に合わせて、φ5.5の下穴を端部アーチ (出入隅上) にあけてください。

② 端部アーチ (出入隅上) を梁に【5-1】で取付けてください。

(3) コーナーキャップの取付け



① コーナーキャップにシーリングをしてください。

② コーナーキャップを前枠と後枠に【5-3】で取付けてください。

ポイント

● 指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

(4) 出入隅カバーの取付け

ポイント

●端部アーチカバーを取付ける際は、屋根押え取付け箇所へのネジは取付けしないでください。屋根押えが取付けられなくなります。

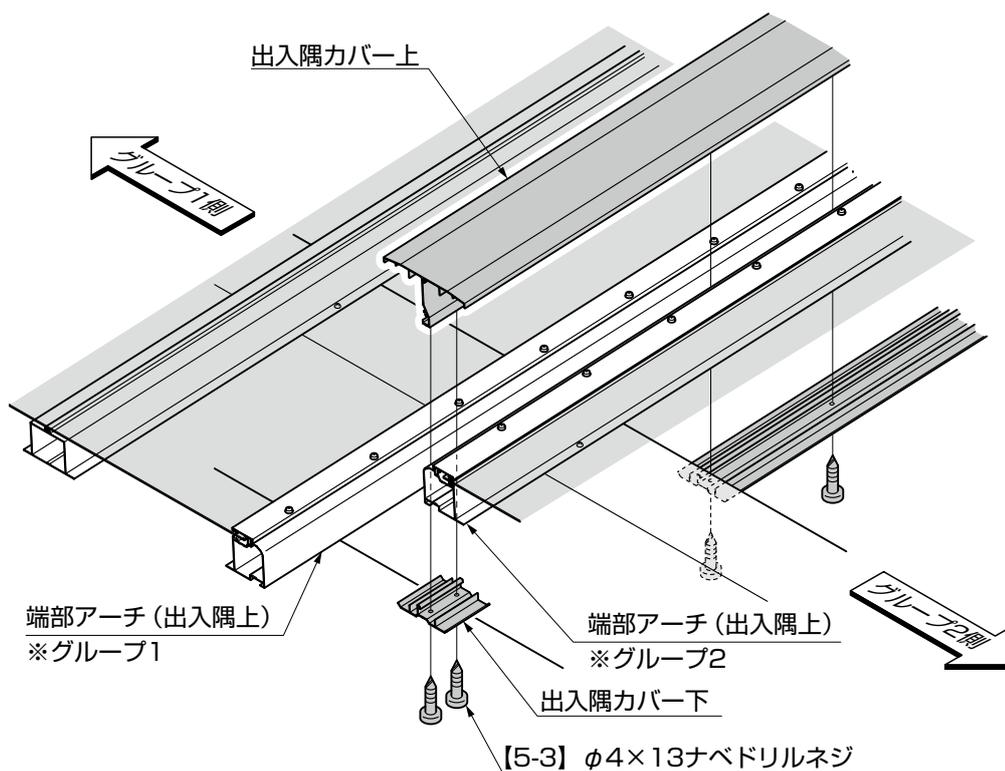


図2-18

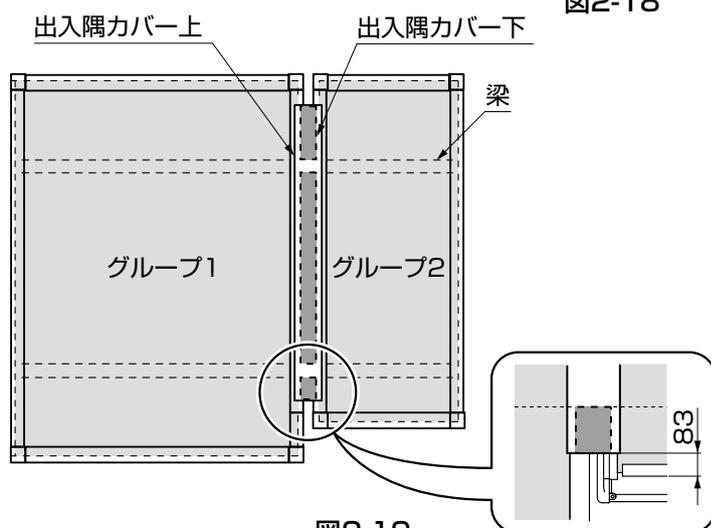


図2-19

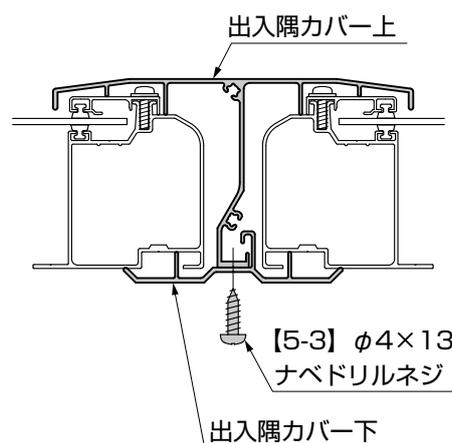


図2-20

- ① 出入隅カバー上を端部アーチ (出入隅上) の間に差込んでください。
- ② 出入隅カバー下を端部アーチ (出入隅上) の下から差込み、出入隅カバー上の両端部に [5-3] で取付けてください。

ポイント

● 出入隅カバー上と出入隅カバー下の端部がそろるように取付けてください。(図2-19参照)

2. (つづき)

2-3 つづき

(5) 屋根押えの取付け

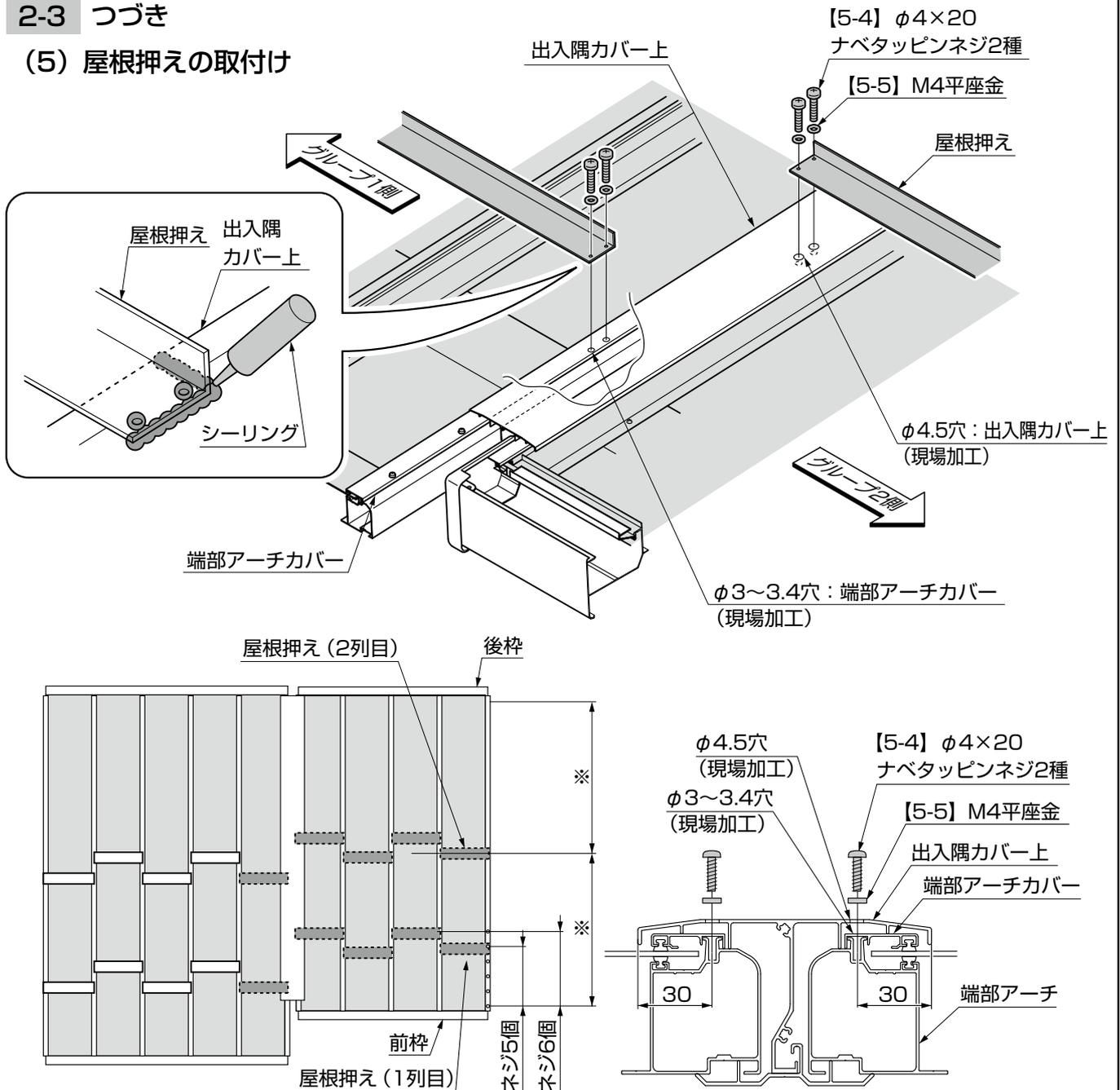


図2-21 屋根押え取付け位置

図2-22

- ① 屋根押え取付け位置に合わせてφ4.5の下穴を出入隅カバー上にあけてください。
- ② 屋根押え取付け位置に合わせてφ3~3.4の下穴を端部アーチカバーにあけてください。

ポイント

- 出入隅カバー上、端部アーチカバーに下穴をあける際は、端部アーチまで貫通しないように注意してください。
- ③ 屋根押えを出入隅カバー上に [5-4]、[5-5] で取付けてください。

ポイント

- 屋根押えの2列目は『※』が均等になるように取付けてください。(図2-21参照)
- 出入隅カバー上と屋根押えが接する箇所にシーリングをしてください。
- 指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

(6) 出入隅端部カバーの取付け

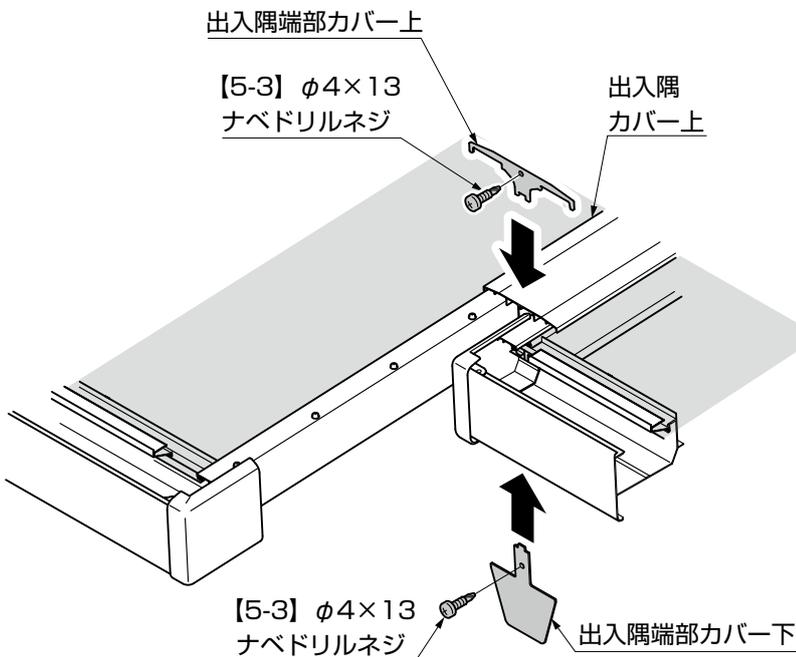


図2-23

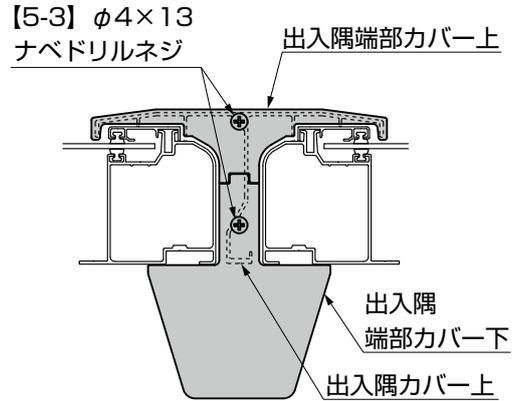


図2-24

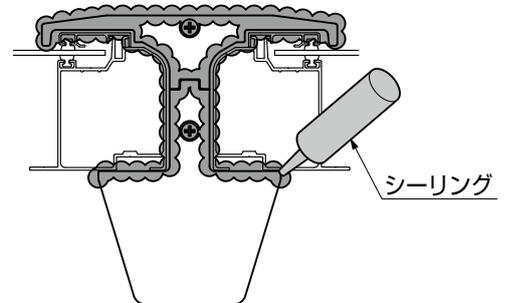


図2-25 シーリング箇所

- ① 出入隅端部カバーを出入隅カバー上の両端部に【5-3】で取付けてください。
- ② 出入隅端部カバーにシーリングをしてください。

ポイント

- 必ず、出入隅端部カバーの上下の面がそろっていることを確認した上で、シーリングを実施してください。面がそろっていない、あるいはシーリングがあまい場合、漏水の原因になります。

(7) 端部アーチ (出入隅下) の取付け

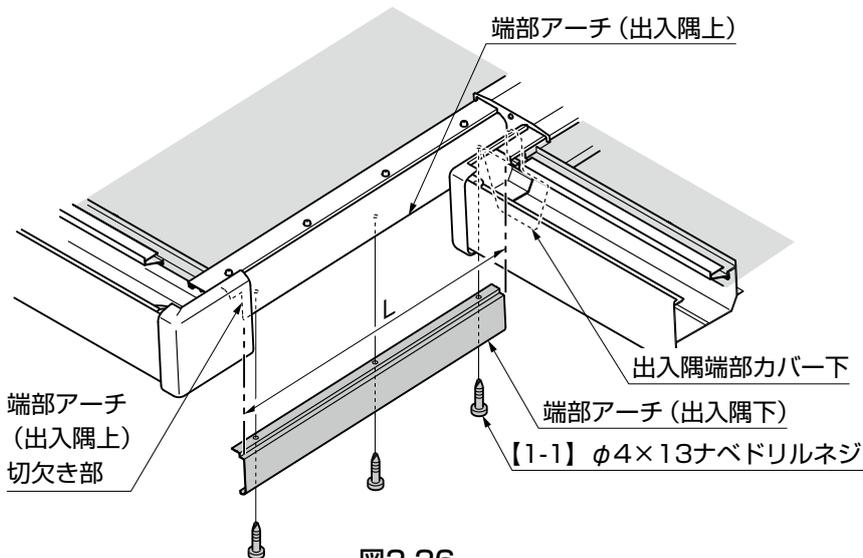


図2-26

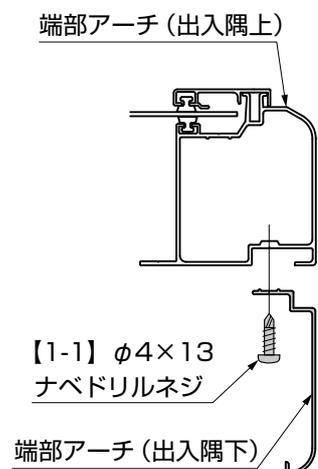


図2-27

- ① 端部アーチ (出入隅下) の端部を、屋根材はね出し部分の端部アーチ (出入隅上) の切欠き部に合わせ【1-1】で取付けてください。

3. 正面台形

3-1 施工制限

ポイント

●本書では、下図の正面台形をベースに加工寸法や施工方法を説明しています。下図と左右対称に施工する場合は、加工寸法や施工方法など必要に応じて左右対称に読み替えてください。

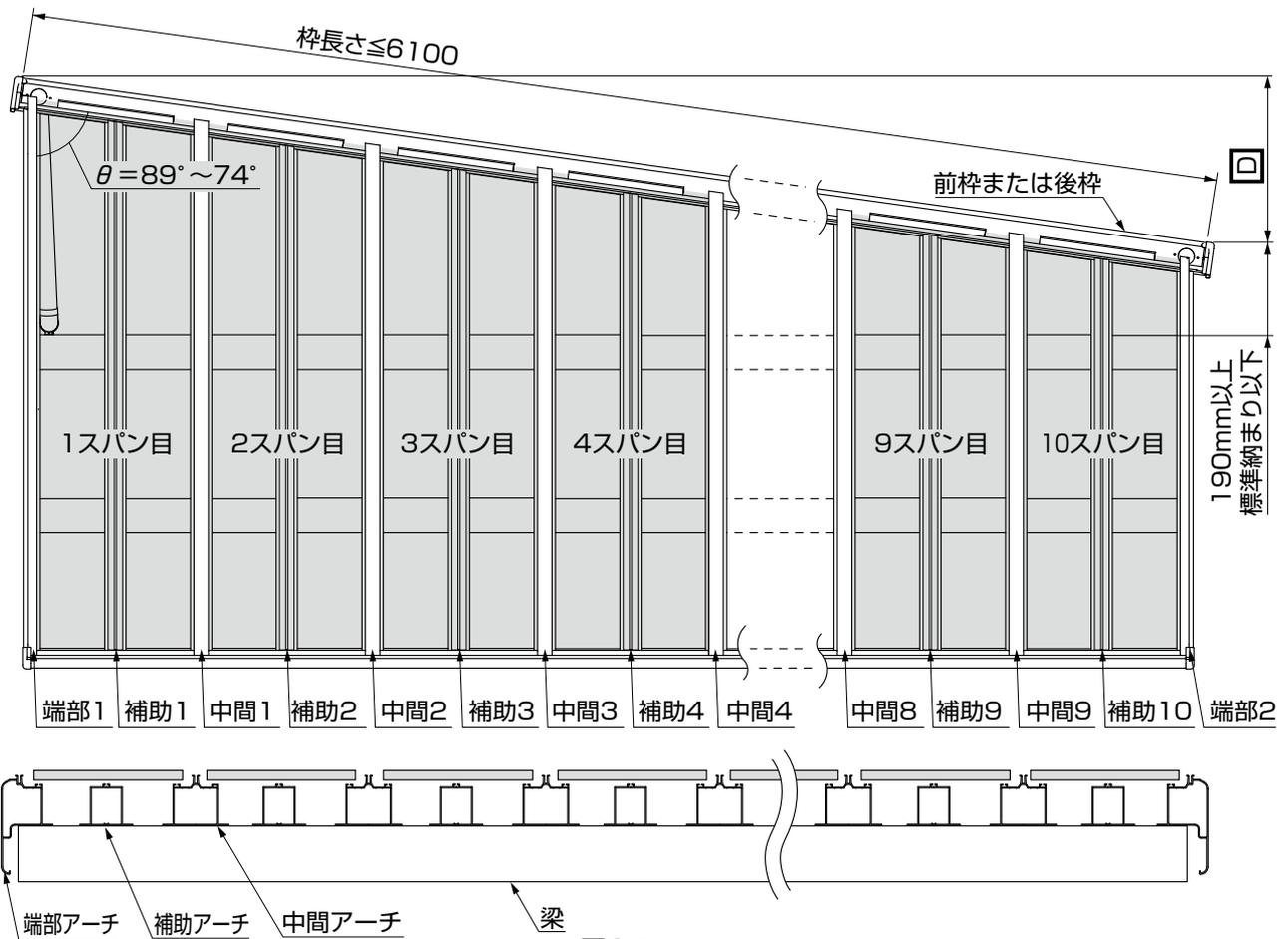


図3-1

表3-1 施工可能寸法表

柱	L	D (最大)	
		前桝を斜め	後桝を斜め
4本柱	50	800	700
	57	900	900
6本柱	50	500	500
	57	600	600
8本柱	50	400	300
	57	400	400

表3-2 D寸法角度換算表

D	θ		
	W30	W54	W60
~100	89	89	-
~200	87	88	89
~300	85	87	88
~400	83	86	87
~500	81	85	86
~600	79	84	85
~700	77	83	84
~800	75	82	83
~900	74	81	82

注意

●柱移動は当社指定範囲内にしてください。

ポイント

- 正面台形は、1台用、2台用に施工可能です。
- 屋根部は、必ず梁をまたいでください。また、梁からのはね出し寸法は190mm以上標準納まり以下にしてください。
- 施工可能寸法表の寸法範囲内で施工してください。(図3-1、表3-1参照)

- ①部材を加工するにあたり、あらかじめ台形の切詰め寸法(D)を表3-1の施工可能寸法範囲内で決定します。
- ②①で決めたDの値から、表3-2を参照して角度を確認します。
- ③②で確認した角度を元に、各部材の加工寸法を次ページ以降で確認し加工してください。

3-2 部材の加工

(1) 屋根材の加工

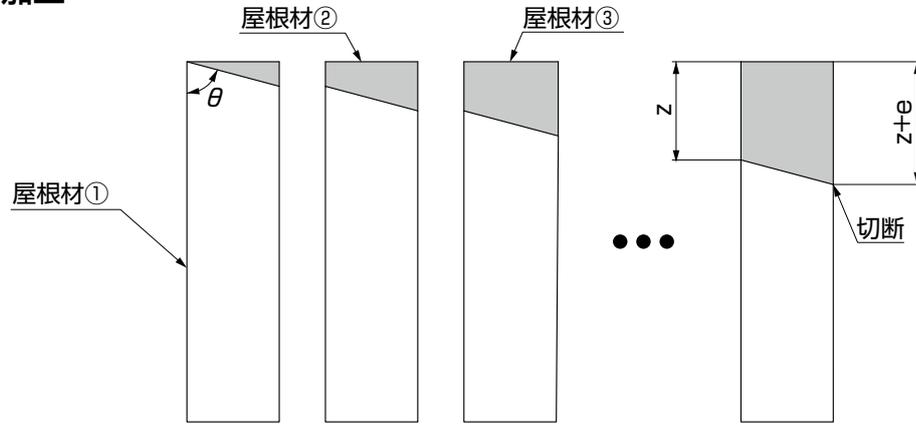


図3-2

表 3-3

θ	z										e
	W30・W54・W60					W54・W60				W60	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
89	0	10	21	31	41	51	62	72	82	93	10
88	0	21	41	62	82	103	124	144	165	185	20
87	0	31	62	93	124	155	186	216	247	278	30
86	0	41	83	124	165	206	248	289	330	371	40
85	0	52	103	155	206	258	310	361	413	465	50
84	0	62	124	186	248	310	372	434	496	558	60
83	0	72	145	217	290	362	435	507	580	652	70
82	0	83	166	249	332	415	498	580	663	746	81
81	0	93	187	280	374	467	561	654	748		91
80	0	104	208	312	416						101
79	0	115	229	344	459						111
78	0	125	251	376	502						122
77	0	136	272	409	545						132
76	0	147	294	441	588						143
75	0	158	316	474	632						154
74	0	169	338	508	677						164

①図3-2、表3-3を参照して、屋根材を切断してください。

ポイント

- 屋根材は表裏がありますので、表裏の確認をしてから切断してください。

3. (つづき)

3-2 つづき

(2) アーチ、アーチカバーの切断加工

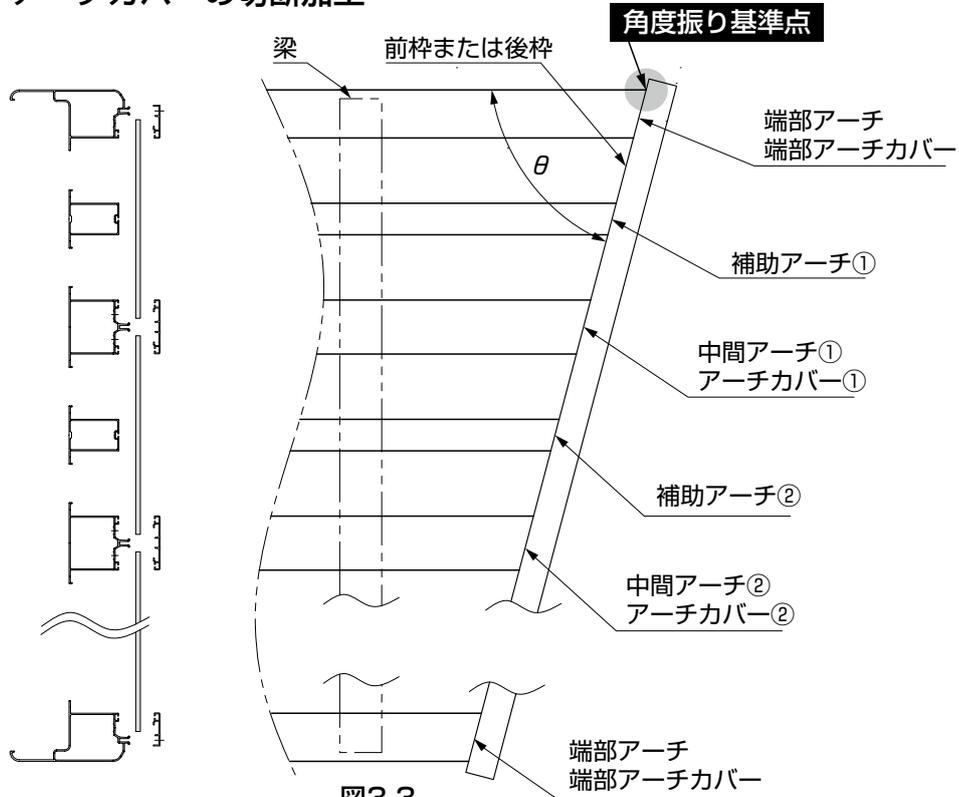


図3-3

【端部】

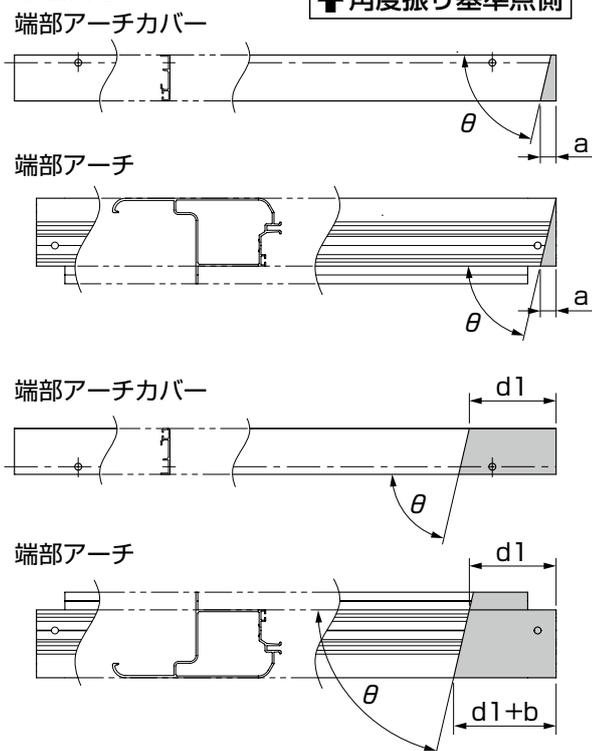


図 3-4 端部アーチ・端部アーチカバーの加工

表 3-4 端部アーチ・端部アーチカバー加工寸法

θ	W 範囲	a	d1 寸法			b
			W30	W54	W60	
89	1	51	93	103	1	
88	2	103	185	206	2	
87	2	154	278	309	3	
86	3	206	371	412	3	
85	4	258	464	516	4	
84	5	309	558	620	5	
83	5	362	651	724	6	
82	6	414	745	828	7	
81	7	466	840		8	
80	8	519			9	
79	9	572			10	
78	9	626			11	
77	10	680			12	
76	11	734			12	
75	12	789			13	
74	13	844			14	

※ 1500/3000/4500 共通

①図 3-1、図 3-3、図 3-4、表 3-4 を参照して 端部アーチ・端部アーチカバーを切断加工してください。

【中間部】

↑角度振り基準点側

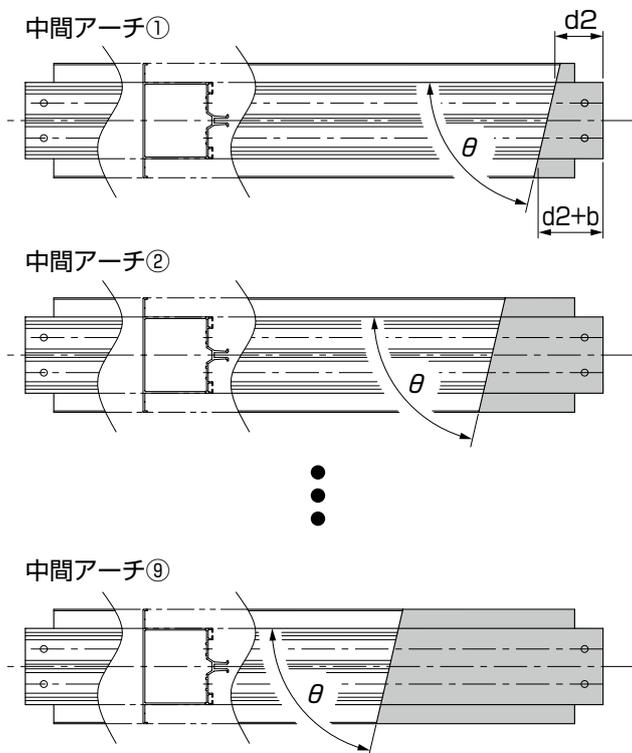


図 3-5 中間アーチの加工

↑角度振り基準点側

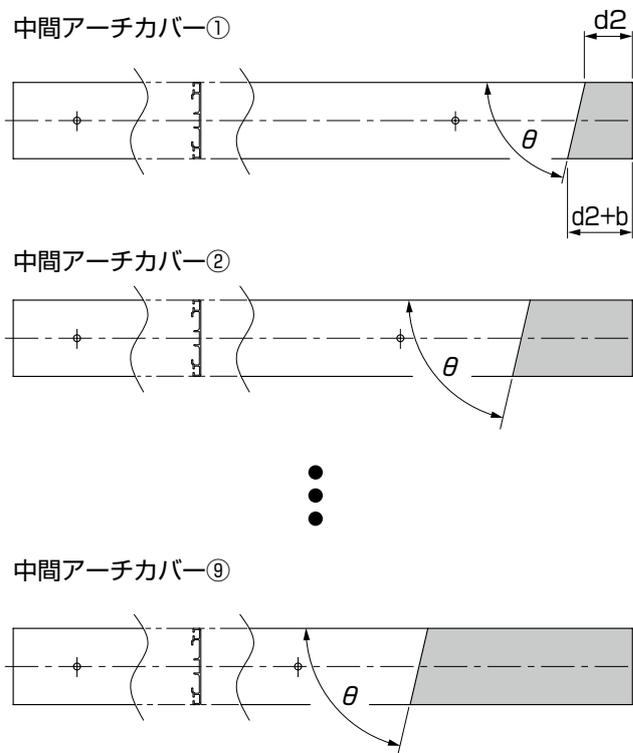


図 3-6 アーチカバーの加工

表 3-5 中間アーチ・アーチカバー

θ	W 範囲									b
	W30用 d2 寸法									
	W54 d2 寸法									
	W60 d2 寸法									
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
89	10	21	31	41	51	62	72	82	93	1
88	20	41	62	82	103	123	144	165	185	2
87	31	62	92	123	154	185	216	247	278	3
86	41	82	123	165	206	247	288	330	371	3
85	51	103	154	206	258	309	361	412	464	4
84	61	123	185	247	309	371	434	496	558	5
83	72	144	217	289	362	434	506	579	651	6
82	82	165	248	331	414	497	580	663	745	7
81	93	186	279	373	466	560	653	747	840	8
80	103	207	311	415	519					9
79	114	228	343	458	572					10
78	124	250	375	500	626					11
77	135	271	407	544	680					12
76	146	293	440	587	734					12
75	157	315	473	631	789					13
74	168	337	506	675	844					14

※ 1500/3000/4500 共通

②図 3-1、図 3-3、図 3-5、図 3-6、表 3-5 を参照して中間アーチとアーチカバーを切断加工してください。

3. (つづき)

3-2 つづき

(2) アーチ、アーチカバーの切断加工

【補助アーチ】

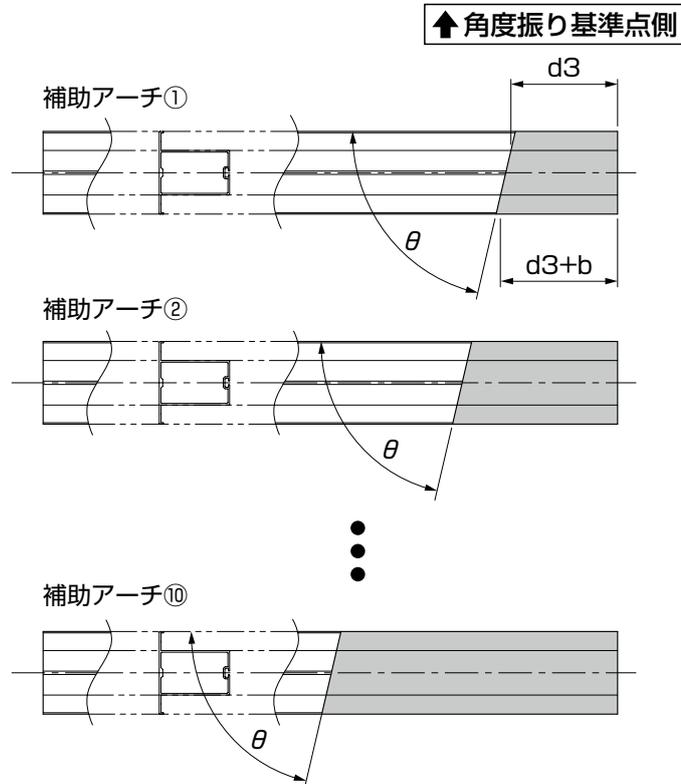


図 3-7 補助アーチの加工

表 3-6 補助アーチ 加工寸法

W範囲 θ	1500 タイプ										3000・4500 タイプ										b
	W30 用 d3 寸法										W30 用 d3 寸法										
	W54 d3 寸法										W54 d3 寸法										
	W60 d3 寸法										W60 d3 寸法										
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
89	5	16	26	36	46	57	67	77	88	98	5	15	26	36	46	57	67	77	87	98	1
88	10	31	52	72	93	113	134	155	175	196	10	31	51	72	93	113	134	154	175	196	1
87	16	47	78	108	139	170	201	232	263	294	15	46	77	108	139	170	201	232	263	293	2
86	21	62	103	145	186	227	269	310	351	392	20	62	103	144	185	227	268	309	350	392	2
85	26	78	129	181	233	284	336	388	439	491	25	77	129	180	232	283	335	387	438	490	3
84	32	94	156	218	280	342	404	466	528	590	30	92	154	216	278	340	402	465	527	589	3
83	37	109	182	254	327	399	471	544	616	689	36	108	180	253	325	398	470	543	615	688	4
82	42	125	208	291	374	457	540	623	706	788	41	124	207	289	372	455	538	621	704	787	4
81	47	141	234	328	421	515	608	702	795		46	139	233	326	420	513	607	700	793		5
80	53	157	261	365	469						51	155	259	363	467						5
79	58	173	288	402	517						56	171	286	400	515						6
78	64	189	315	440	565						62	187	312	438	563						6
77	69	205	342	478	614						67	203	339	475	612						7
76	75	222	369	516	663						72	219	366	513	661						7
75	80	238	397	555	713						78	236	394	552	710						8
74	86	255	424	594	763						83	252	421	591	760						8

③図 3-1、図 3-3、図 3-7、表 3-6 を参照して 端部アーチ・端部アーチカバーを切断加工してください。

3. (つづき)

3-2 つづき

(3) アーチの切欠き・穴加工

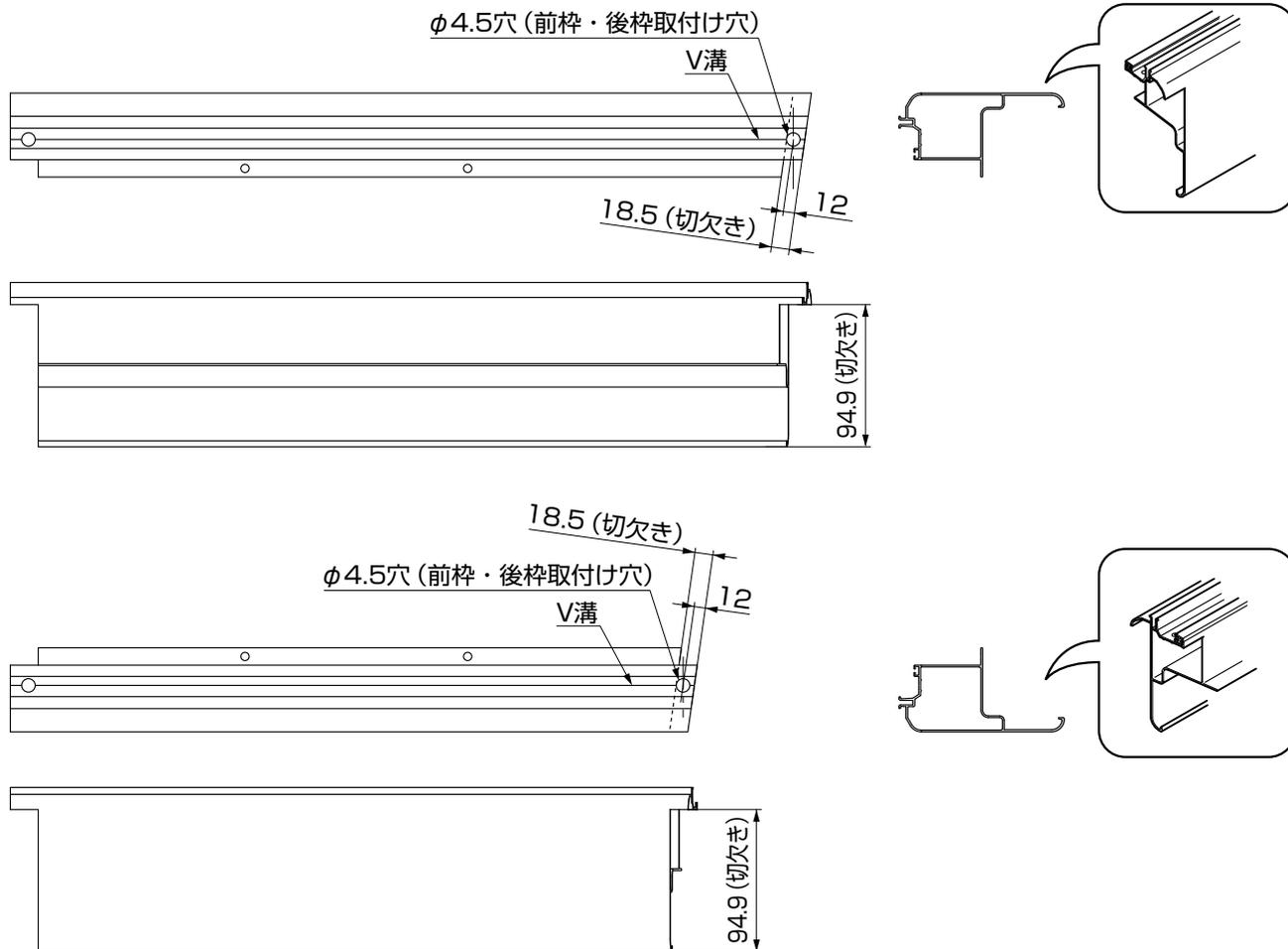


図3-8 端部アーチの加工

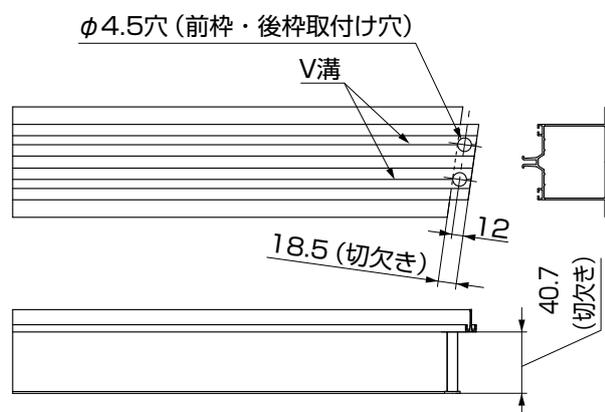


図3-9 中間アーチ

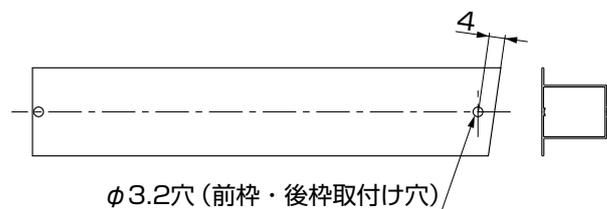


図3-10 補助アーチ

①アーチに切欠き加工・穴加工をしてください。

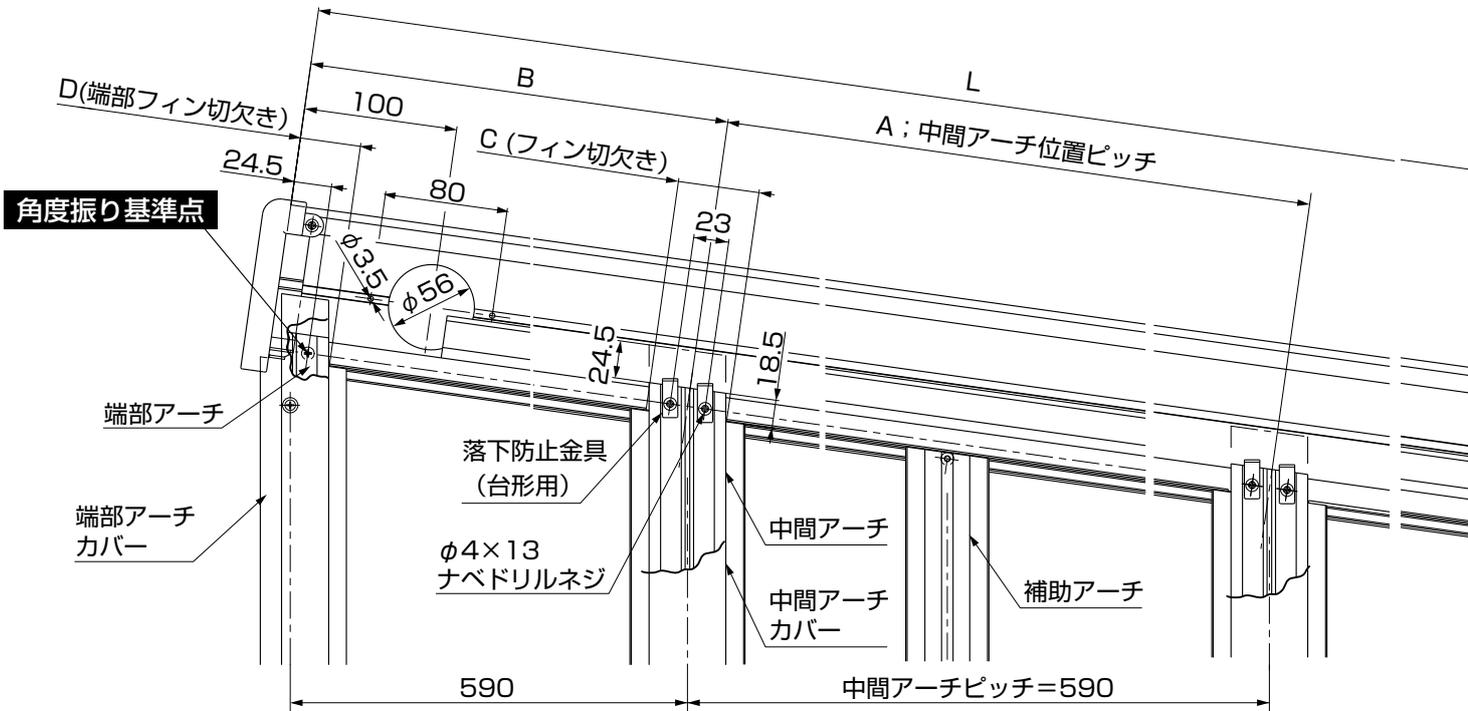
ポイント

●端部アーチは斜めに切断することで、部材に左右が生じます。切欠き、穴あけ加工の際は注意してください。

3. (つづき)

3-2 つづき

(4) 前枠・後枠の加工



ポイント

- アタッチ取付け穴は、基準点側にのみ加工してください。(※)

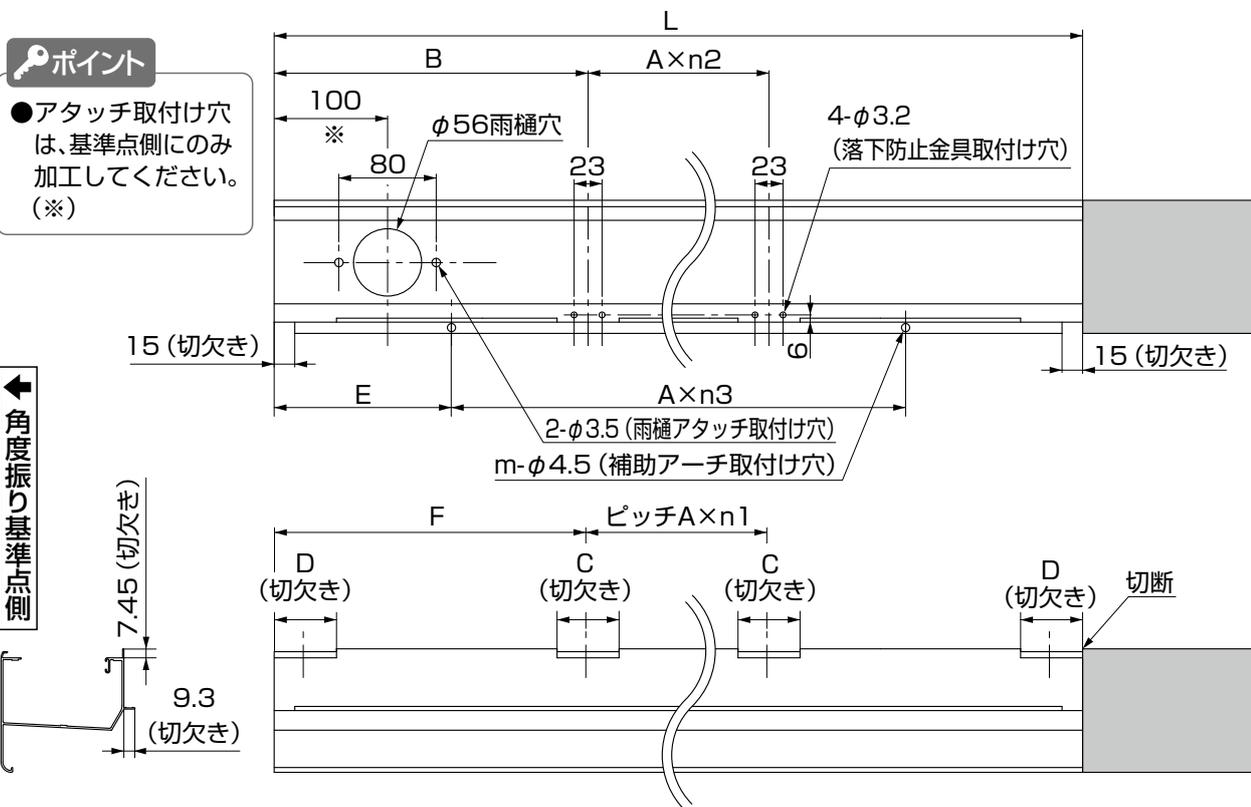


図3-11 前枠を加工する場合

①前枠または後枠を加工してください。

表 3-7

サイズ	m	n1	n2	n3
W30	5	3	3	4
W54	9	7	5	8
W60	10	8	6	9

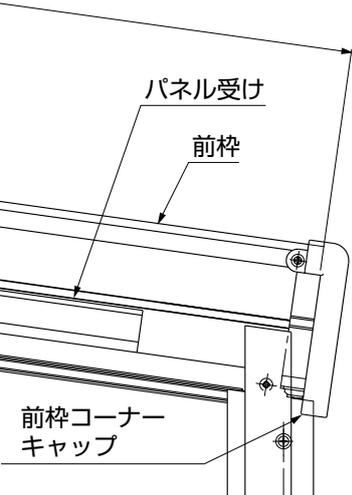


表 3-8

角度 θ	前後枠長さ			垂木 ピッチ A	落下防止金具 取付位置 B		切り欠き (中間) C	切り欠き (端部) D	補助 アーチ 取付孔 位置 E	端部 切り欠き 位置 F
	L				W30	W54/60				
	W30	W54	W60							
89	2977	5337	5927	590	603	1193	52	39	308	603
88	2978	5339	5930	591	603.5	1194	52	39	309	603.5
87	2980	5344	5934	591	604	1195	52	39	309	604
86	2983	5349.0	5941	592	604.5	1196	52	39	310	604.5
85	2987	5356	5948.5	592.5	605.5	1198	52	39	310	605.5
84	2992	5365	5958.5	593	606	1199	53	40	311	606
83	2998	5376	5970	595	607.5	1202	53	39.5	311.5	607.5
82	3005	5388	5984	596	609	1205	53	39.5	312.5	609
81	3013	5402		598	610.5	1208	53	39.5	313.5	610.5
80	3021			599	612		53	39.5	314	612
79	3031			601	614		53	39.5	316	614
78	3042			603	616		54	40	316.5	616
77	3053			606	618.5		54	40	318	618.5
76	3066			608	621		54	40	320	621
75	3079.5			611	624		54	40	321	624
74	3094			614	627		54	40	323	627

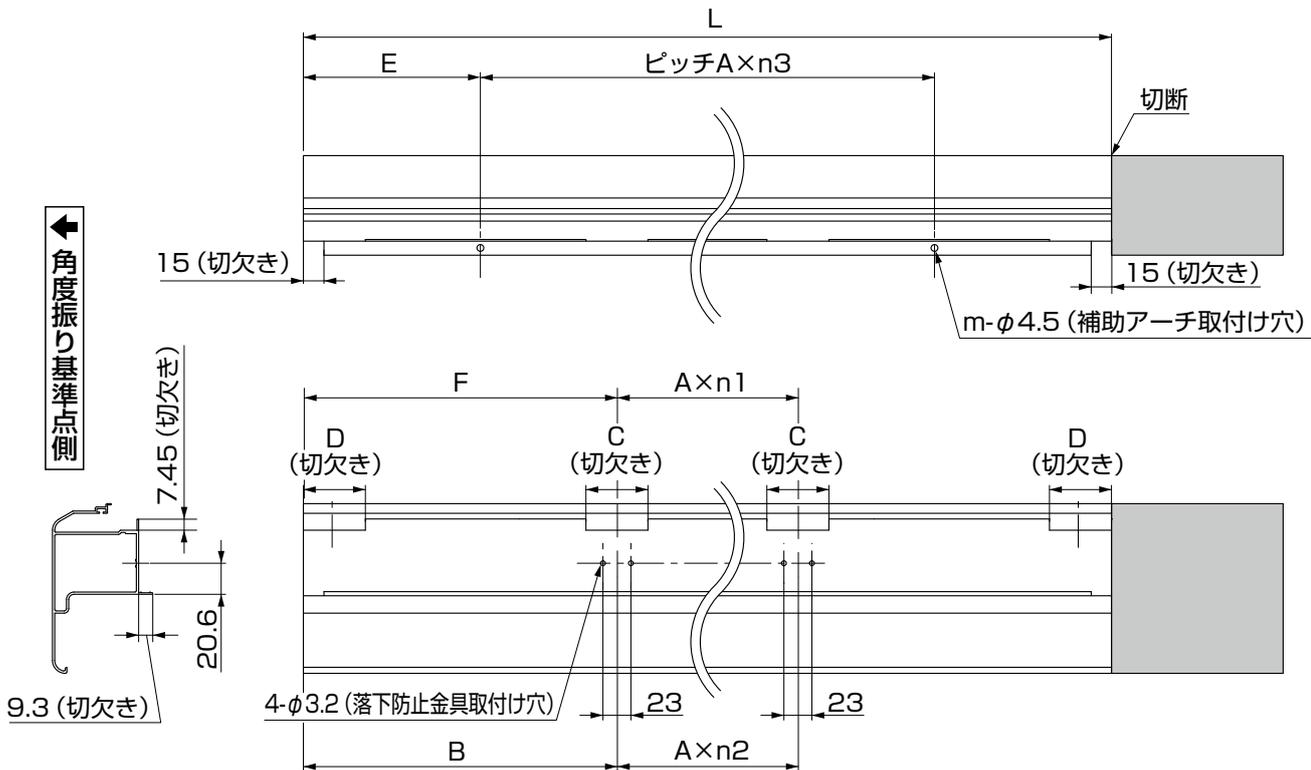


図3-12 後枠を加工する場合

3. (つづき)

3-3 施工方法

ポイント

●基本的な屋根施工については、「ソルディーポート 取付説明書〈D570〉」を参照してください。本書では、正面台形に特化した内容のみ記載しています。

(1) 枠の取付け

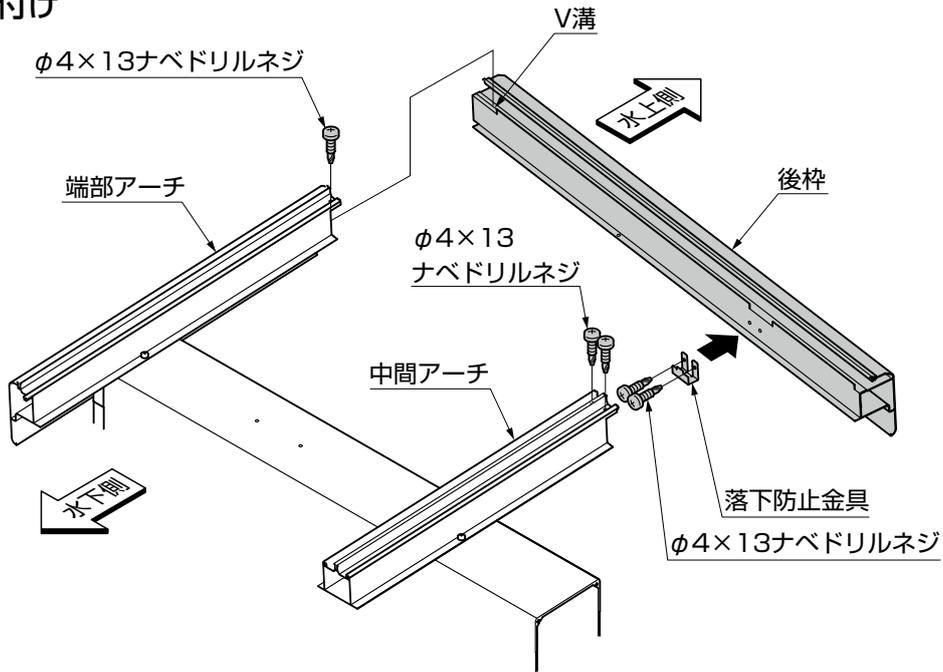


図3-13 後枠を斜めにした場合

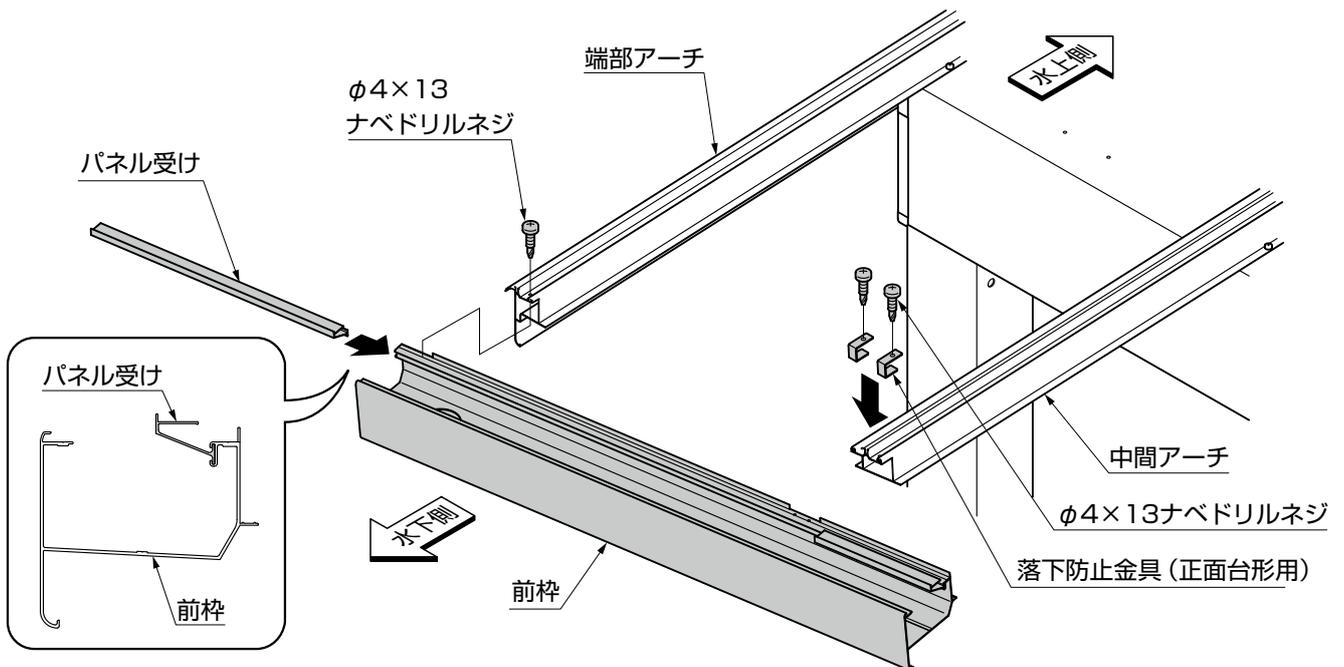


図3-14 前枠を斜めにした場合

- ①パネル受けを必要なスパン数だけ前枠に取付けてください。
- ②前枠、後枠をアーチに「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。

(2) コーナーキャップの取付け

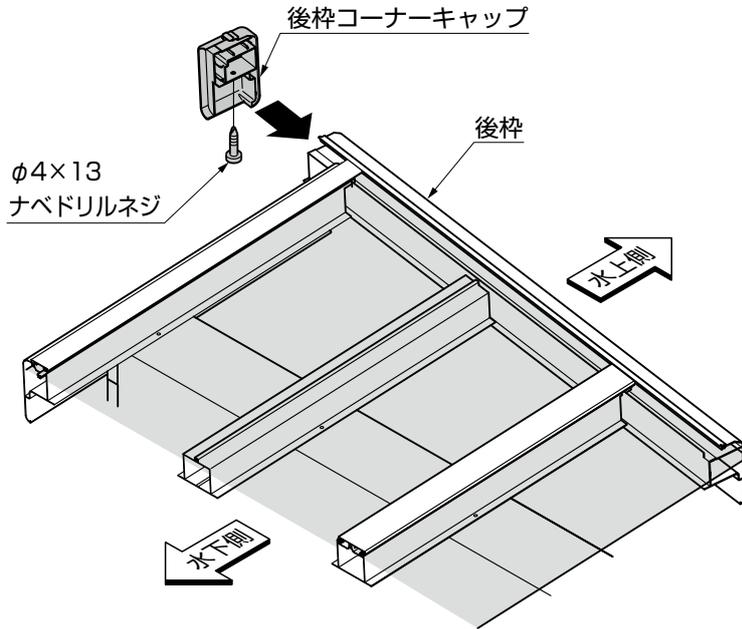


図3-15 後枠を斜めにした場合

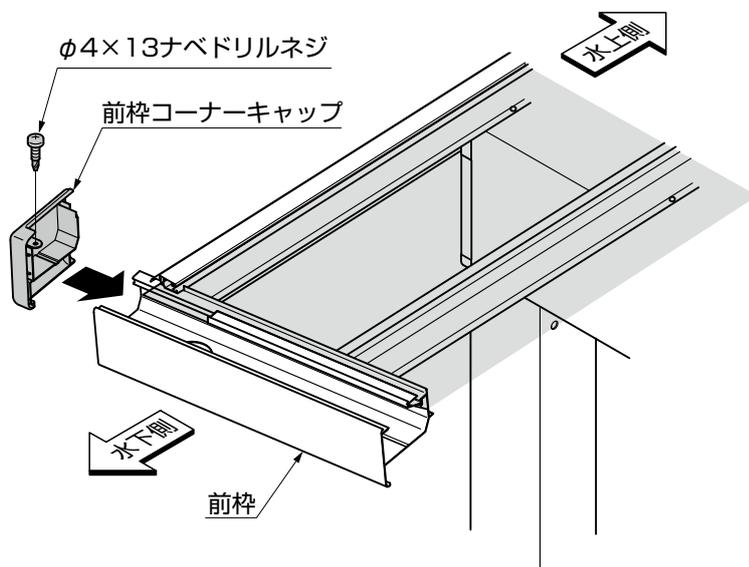


図3-18 前枠を斜めにした場合

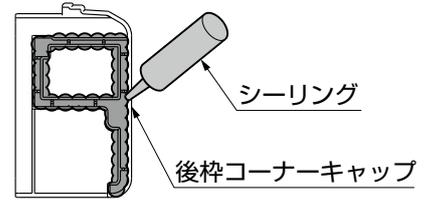


図3-16 後枠コーナーキャップ
シーリング箇所 (取付け前)

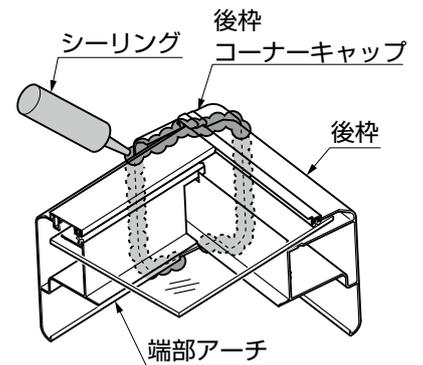


図3-17 後枠コーナーキャップ
シーリング箇所 (取付け後)

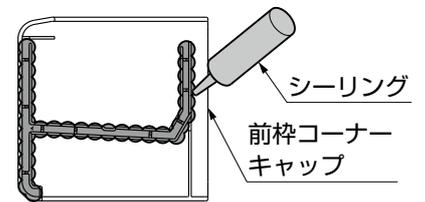


図3-19 前枠コーナーキャップ
シーリング箇所 (取付け前)

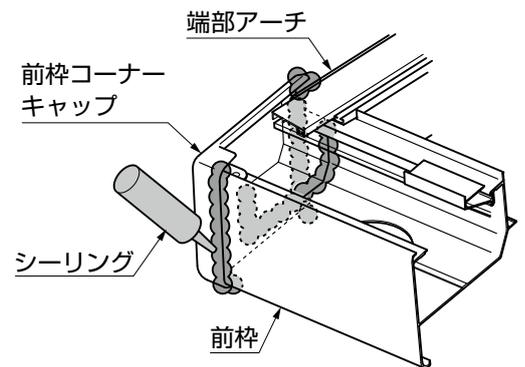


図3-20 前枠コーナーキャップ
シーリング箇所 (取付け前)

- ① コーナーキャップにシーリングをしてください。(図3-16、3-19参照)
- ② コーナーキャップを前枠、後枠に「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。
- ③ コーナーキャップと各部材の接する箇所にシーリングをしてください。(図3-17、3-20参照)

ポイント

- 指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

